

(1) 評価要領および評価表

【別紙B】

本業務における特定テーマおよび技術提案書を特定するための評価表は以下のとおりとする。
 評価は①～⑰の各項目毎に、A、A'、B、B'、Cの5段階とし、それぞれ次のように点数を計算して
 100点満点(小数点第2位まで表示)で総合評価し、最高得点者を特定することを原則とする。

<計算方法>

A の場合は、配点×5/5点 B の場合は、配点×3/5点 C の場合は0点
 A' の場合は、配点×4/5点 B' の場合は、配点×2/5点

テーマ1	内容	御堂筋の側道歩行者空間化整備にあたって、荷捌き車や一般車等が一時的に停車できる機能を確保するため、沿道アクセススペース(荷捌きスペース)を設置計画している。 また、沿道アクセススペースが適正に利用できるようカメラの設置や交通誘導員を配置し、管理を行っている。 昨年秋の社会実験ではカメラを高度化し、カメラ映像のクラウド化や人流把握などにも取り組んでいる。 今後、整備の進捗とともに、沿道アクセススペースの数(範囲)が増えることから、広範囲にわたる適正な管理運用方法、交通誘導員の配置方法などが課題となっている。 上記の課題を踏まえ、デジタル技術を活用した課題解決方法を挙げ、その検討プロセスについて述べてください。
テーマ2	内容	御堂筋の空間再編事業を進めていくにあたって、周辺エリアの人流の回遊状況把握を行い、回遊性向上に向けた官民連携した取り組みを行っている。 上記の取り組み内容を踏まえ、御堂筋空間再編事業の事業効果や回遊性向上について、デジタル技術を活用した方法(見える化など)を挙げ、今後のエリア価値向上や回遊性向上に向けた検討プロセスについて述べてください。

評価シート						評価例					
評価項目	評価の着眼点	配点			評価	評価の換算計算	評価点			備考	
		項目別	複数時配分	項目別配分			項目別配分	複数時配分	項目別		
配置予定技術者の 経験及び能力の	管理技術者	過去10年間の規定業務の実績	10	5	A	5×5/5	5.0	8.0	22.0	①	
		専任性(他業務との兼任状況)		5	B	5×3/5	3.0			②	
	照査技術者 担当技術者1	過去10年間の規定業務の実績	5	5	A	5×5/5	5.0	5.0	22.0	③	
		専任性(他業務との兼任状況)		5	A'	5×4/5	4.0	4.0	④		
	担当技術者2	専任性(他業務との兼任状況)	5	5	A	5×5/5	5.0	5.0	22.0	⑤	
□1. 実施方針・実施フ 他	業務の理解度	目的、条件、内容の理解	5	5	A	5×5/5	5.0	5.0	19.0	⑥	
		業務実施手順(フロー・工程表)		10	5	B	5×3/5	3.0		8.0	⑦
	その他	業務量把握、人員配置の妥当性	5		5	A	5×5/5	5.0	8.0	⑧	
		重要事項の指摘		10	10	B	10×3/5	6.0	6.0	⑨	
特定テーマに対する 技術提案	特定テーマ1	的確性	50	5	A	5×5/5	5.0	18.0	39.0	⑩	
				5	B'	5×2/5	2.0			⑪	
		実現性		5	A	5×5/5	5.0			⑫	
		独創性		10	B	10×3/5	6.0			⑬	
	特定テーマ2	的確性	25	5	A	5×5/5	5.0	21.0	39.0	⑭	
				5	A	5×5/5	5.0			⑮	
		実現性		5	A	5×5/5	5.0			⑯	
		独創性		10	B	10×3/5	6.0			⑰	
合計(100点満点)		100.0			80.0						